

オンライン  
ライブ配信  
**ZOOM**

令和2年度

## 英語で伝えようヒロシマセミナー

【第1部】「日系アメリカ人被爆者の体験を聴こう」

2021年2月6日（土）9:30～10:50

【第2部】「アメリカで活動する被爆二世

—ヒロシマ被爆者の娘たち」

2021年2月13日（土）9:00～11:05

参加費：無料

参加申込みはこちらから↓

第1部（2/6）

[https://zoom.us/webinar/register/WN\\_jVhiNWERR6Cmlryvgr3nKQ](https://zoom.us/webinar/register/WN_jVhiNWERR6Cmlryvgr3nKQ)



第2部（2/13）

[https://zoom.us/webinar/register/WN\\_klwFJRvURGSJejDkeuNDdw](https://zoom.us/webinar/register/WN_klwFJRvURGSJejDkeuNDdw)



※各回最大100名（先着順）

※ 定員を超えた場合は、YouTubeによる視聴方法をご案内しますのでEメールでお問い合わせください。

今年度のセミナーでは、アメリカで  
ご自身やご家族の被爆体験を伝えて  
おられる方々からお話を伺い、海  
外で原爆を伝えることについて考  
えます。

【問合せ先】

広島平和記念資料館 啓発課

電話：082-242-7828

Eメール：[keihatsu@pcf.city.hiroshima.jp](mailto:keihatsu@pcf.city.hiroshima.jp)

※ 広島市の高齢者いきいき活動ポイント対象事業（1ポイント）

# 講師紹介

## 【第1部】 「日系アメリカ人被爆者の体験を聴こう」



みき まさこ  
**三木 昌子**

全米日系人博物館・日本語渉外担当

兵庫県生まれ。2009年に渡米。2018年より全米日系人博物館にて現職。同館の日本語マーケティング、ファンドレイジング、プログラム企画などを担う。同館では2019年11月に広島市、長崎市との共催で「きのこ雲の下で：広島、長崎と原爆」展を開催。現在は臨時休館中だが、再開館次第、同原爆展の再開を予定している。



さらしな じゅんじ  
**更科 洵爾**

米国広島-長崎原爆被爆者協会 (ASA) 会長

1929年ハワイ・マウイ島生まれ。広島県からハワイに移民として渡った父を持つ日系二世。1937年、日本で教育を受けるため、広島に移り住み、旧制広島一中（現国泰寺高）3年生だった16歳の時、爆心地から約3.5kmの学徒動員先で被爆。戦後帰国し、朝鮮戦争に従軍した後、カリフォルニア州に渡り、航空機を作る会社に勤めながら、ASAの活動に参加。2017年から現職。



かきた ひろし  
**ハワード・蠣田・弘**

米国広島-長崎原爆被爆者協会 (ASA) 理事

1938年ロサンゼルス生まれの日系三世。1940年、両親、兄と共に祖父の病氣見舞いのために広島に滞在。その後、一時帰国した両親が日系人収容所に送られたため、一家は日米で離ればなれに。国民学校1年生だった7歳の時、爆心地から1.3kmの祖父母宅で被爆。1948年に帰国し、コンピュータ工学の分野でキャリアを積む。退職後、ASAのメンバーとして積極的に自身の経験を語っている。

## 【第2部】「アメリカで活動する被爆二世 —ヒロシマ被爆者の娘たち—



みやもと  
**宮本 ゆき**

デュポール大学准教授

広島市出身の被爆二世。シカゴ大学で修士・博士号取得（宗教・哲学・政治倫理学）。被ばく被害と倫理に関する研究を行い、大学で「原爆論説」や「核の時代」などの講義を行うとともに、学生を引率して広島・長崎を訪問している。著書に『Beyond the Mushroom Cloud: Commemoration, Religion, and Responsibility after Hiroshima』、『なぜ原爆が悪ではないのか』がある。イリノイ州シカゴ在住。



キャサリン・  
バーキンショー

日系アメリカ人作家

日本人の母親とアメリカ人の父親を持つ被爆二世。12歳の時に広島で被爆した母トシコ・イシカワ・ヒリカーさんの体験をもとにした小説『The Last Cherry Blossom』を2016年に発表。この小説は国連軍縮局が教育者向けの推薦図書に指定しているほか、アメリカで広く平和教育の教材として使われている。講演会を各地で実施し、若い世代に平和の大切さを伝えている。ノースカロライナ州シャーロット在住。



**ナオミ・ヒラハラ**

日系アメリカ人作家

カリフォルニア州パサデナ生まれの被爆二世。両親と祖母が広島で被爆。被爆者の日系人庭師を主人公とするミステリー『庭師マス・アライ事件簿』シリーズで知られる。2004年に小説家デビュー。2007年に『スネークスキン三味線』でエドガー賞（アメリカ探偵作家クラブ賞）を受賞。2019年には広島を舞台にしたシリーズ第7作『Hiroshima Boy』で再びエドガー賞にノミネートされた。南カリフォルニア在住。

# スケジュール

## 【第1部】「日系アメリカ人被爆者の体験を聴こう」

2021年2月6日（土）9:30～10:50

時間 (日本時間)	内容	講師	言語
9:30～	タイトル：日系アメリカ人の歴史	三木 昌子さん	日本語
9:50～	米国広島-長崎原爆被爆者協会 (ASA) メンバーによる被爆体験証言	更科 洵爾さん	英語
10:05～		ハワード・蠣田・弘さん	英語
10:20～	質疑応答		日本語 ・英語
10:35～	ASA 理事による特別解説		日本語 ・英語

## 【第2部】「アメリカで活動する被爆二世 —ヒロシマ被爆者の娘たち」

2021年2月13日（土）9:00～11:05

時間 (日本時間)	内容	講師	言語
9:00～	タイトル：「核をめぐる語り：アメリカと日本」 質疑応答	宮本 ゆきさん	日本語
10:00～	タイトル：「A Hibaku Nisei's Labor of Love」	キャサリン・ バーキンショーさん	英語
10:25～	タイトル：「American Hibakusha: Mas Arai Mysteries」	ナオミ・ヒラハラさん	英語
10:50～	質疑応答	バーキンショーさん、 ヒラハラさん	英語